

関東蒲生会 令和四年度 かわら版

発行 令和4年7月9日

お待たせしました! 4年ぶりの関東蒲生会の懇親会です

関東蒲生会 会長 山下 憲男

関東蒲生会会員の皆様におかれましては、ご健勝にてご活躍のこととお喜び申し上げます。

関東蒲生会の総会を会員のご協力のもとで、関東蒲生会、関東始良町会、東京加治木会と一緒に(合同で)総会・懇親会を開催することになりました。コロナ禍で3年間は未開催で、ようやくの開催です。

懇親会では、蒲生のテーブルを設けたり、景品としましては、蒲生の菜種油・加治木饅頭・つけあげなどを用意しようと思っておりますので、皆様方お誘いあわせの上ご来場を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方はこの2年間コロナ禍の中で、仕事や暮らしにおいて、また、蒲生への里帰りもできずにご苦労されたことと思いますが、コロナ禍の影響で新しい時代が少し早まってきたように感じられます。

本日(6月25日)の日本経済新聞に次のような見出しが出ていました。

NTT「勤務場所は自宅」「出社は出張扱い」新ルール導入。厚労省が副業解禁、企業に促す。

今から48年前の1974年版「通信白書」に、技術革新による「在宅勤務への道」「積極的な通信による交通の代替」で、日本電信電話公社(現NTT)のINS(高度情報システム)構想が発表されました。

そしてISDNで具体化しましたが、米国が軍事用に開発したインターネットを一般に開放したことで、世界はインターネットに取って代わられました。そのNTTが大手企業の先鞭を切って、新しい時代のワークスタイルをスタートさせたことは意義あることと感じております。

「二十一世紀は心の時代」と言われて久しく、また、ウェルビーイング(Well-being:経済成長の満足度から、幸せ・健康・福祉等の心の成長満足度)時代とも言われています。

健康長寿の人生の幸せ、企業の中での健康経営、地域社会の中の幸福度などの物差しに代わる時代が来ています。

関東蒲生会は、コロナ禍を新しい時代の絆とコミュニケーションを磨く絶好のチャンスと捉えて、幹事会をオンラインで実施しました。

オンライン会議に不慣れな方は、蒲生会の仲間が操作方法を丁寧にサポートしながらスマホ保持者全員参加により、コロナ禍でもITをコミュニケーション・ツール(道具)としてうまく使い、新しい時代への順応を図っています。



関東蒲生会で、これまでご縁をいただいた方は、地元に戻られても、よその地に行かれても、ご希望があれば、全国どこでも繋がりが持てる関東蒲生会になっていくことでしょう。

歴史ある関東蒲生会も、蒲生にゆかりのある皆様方に支えられて令和4年で第59回の開催になります。本年度も何卒よろしく願い申し上げます。

関東蒲生会50周年記念記念樹 蒲生郷・ふるさと公園
平成23年11月19日 関東蒲生会会員一同
(会長 満田泰啓 幹事長 山下憲男)

■ 関東蒲生会運営寄付金のお願い

関東蒲生会 会長 山下 憲男

ご承知のように、関東蒲生会は年一回の総会・懇親会で会員相互の親睦と町との交流を主な役割としてまいりました。引き続き今後の運営も総会での決議に基づき、続けていく所存でございます。

一方、今回の総会・懇親会のご案内も含めた、通信費・印刷費・会議室使用料など1年間の維持運営を総会参加者の会費の中から捻出し、不足分は有志の寄付と幹事一同のボランティアで賄っているのが実情でございます。引き続き、関東蒲生会の会員の方々から広く運営寄付金の募金を募っております。

関東蒲生会の活動と運営にご理解とご賛同をいただき、ご寄付を賜りますようお願い申し上げます。（振込用紙を同封してあります）

前回(第3回は台風で中止)振込された方の懇親会費は運営事務局で預かっております。

■ 第25回渋谷・鹿児島おはら祭(2022年5月15日開催)

あいらびゅー踊り連隊長 久富木 文子

コロナ禍のため、2年連続で中止となった渋谷・鹿児島おはら祭が、5月15日3年目の正直で開催されました。悩みながら参加を決めた連も、参加を見送った連も、開催に向け骨折って下さったおはら祭事務局も、日々の感染状況を睨みながら命懸けの決断でした。

今回の参加連は34団体(鹿児島から4団体)、踊り手千人弱で、例年の半分以下となりました。

コロナ感染対策を遵守しながら、全員マスクを付けての前代未聞の踊りパレードで、各連がマスクに其々の工夫を凝らしました。

我が「あいらびゅー連」は、関東勢だけの総勢28名(踊り、男子13、女子12、プラカード、カメラ班3)で、練習という練習も出来ず、ほぼ、ぶっつけ本番のパレード参加でした(皆んな、勇気ある！)。

2年以上帰郷出来てないふるさとへの想いを胸に、13:20文化村通りを登り降り、道玄坂も上り下りの道中筋力の衰えた足腰が、スツたいダレて15:50パレード終了となりました。

塩田鹿児島県知事、下鶴鹿児島市長も、コロナ禍の渋谷を元気づけようと踊りパレードに参加されました。

沿道で応援して下さい下さった皆さま、ご支援頂いた関東蒲生会、始良市ふるさと会の皆さま、ありがとうございました。来年の第26回踊りパレードには、まだ一度も踊った事のない踊り好きさん達と一緒に参加出来たらいいなと思います。

上手も下手も、皆んなの弾ける笑顔が自慢の「あいらびゅー連」に`ハ、ヨイヨイ、ヨーイヤサーツ`



今後の予定 1) 2022年11月3日 天文館おはら祭 2) 2023年5月21日渋谷・鹿児島おはら祭

千葉に嫁いで49年、突然の血液リンパ腫と宣告されて!

常任幹事 片岡 のり子(旧姓 野村)

蒲生から千葉に嫁いで早や49年。結婚するまでは鹿児島市内に勤め蒲生から南国バスで5年間通勤しました。24年間住み慣れた大好きな蒲生を離れるのには、あまり抵抗はありませんでしたが、見送りに来てた母が泣き崩れ、その時の状況が、東京駅に着くまで頭から離れず、さらに、母から届いた最初の手紙に「どうして私は貴女が遠くへ嫁ぐのを許したのでしょうか」。読みながら大粒の涙が止まりませんでした。

しかしながら一週間に一度は届く手紙の最後は必ず「仲良きお二人様へ」と結んでありました。その後1973年秋に都内で結婚式を挙げ、その時の両親の笑顔にホッとしました。また、その年のオイルショックでは蒲生から大きな段ボール箱が届き、中にはたくさんのトイレトペーパー、洗剤が入っていました。その時も母に感謝でした。

懐かしい蒲生での思い出は、小学生時代の4月桜の咲くころ「女の子の節句」母手作りの蒸し羊かん、かるかん、いこ餅、蒸しカステラを箱に詰め友達と城山の桜公園、八幡神社の上の桜公園のお花見に行きお菓子の取り換えっが楽しみでした。



5月の茶摘みの終わった頃、「端午の節句」木を燃やした灰汁に餅米をつけ竹の皮で包み、大きな鉄なべで長時間庭で炊いたあく巻き。子供の頃は苦いけど、黒砂糖・きな粉をたっぷりつけて食べるの好きでした。

かからん団子も大好きです。現在も毎年義姉から、あく巻き、かからん団子送ってもらっています。六月灯では八幡神社、勉強の神様、(菅原道真公が祀られている)には毎年手を合わせに行きましたがお参りだけでは成績上がらず、やはり勉強でしたね。

40年間続けてたお墓参りも令和2年、3年とコロナ禍で蒲生に帰省できず、令和4年は両親の墓参りに行けるかもと願っておりましたが、昨年12月初め激しい咳が止まらず肺炎かなと思っていましたが意識不明の即入院の結果、柏の国立がん研究センターでの病名は「血液リンパ腫」でした。

これは難しい病気で治らないものと察知しましたので、少しでも元気に会話出来る時にと思い、すぐ蒲生会3人の方やNPO法人の仲間たちと学生時代の友人に今までお世話になったお礼とお別れの電話をしました。

病院では主治医の血液内科の先生と血液専門の2~3名の先生方がいつも朝夕、様子見に来られ私の質問にも、快く答えていただき、日曜日でも私の病気が気になるころがあるとレントゲン撮影をして頂きました。先生方の患者に対する姿勢に感動し、自分も一緒に治療に専念せねばと力が湧いてきました。

私には抗がん剤治療の副作用もなく食欲もあり体力もありましたが、私に強い抗がん剤は進めたくないとの医師の判断で、築地の国立がん研究センター中央病院を紹介してくださいました。

ここは全国からの患者さんの入院待ちが多く86%良く治ってるのに次の入院まで長期間かかるのではとか、家族の心配が増えましたが、幸運にも入院も即決まりました。

ここでは「NK/T細胞リンパ腫」と告知され、主治医の先生に完治しないけど頑張りましょうと優しい言葉をかけてくださいました。私は治験者であり私の治療データは外国に送られております。入院治療は4月で終わり退院しました。

今は通院治療をしております。先月のレントゲンの結果では、なんと影が消えており、奇跡が起きたと思いました。

先生がひと言「誰でも効くとは限りませんからね!」と仰いました。

これも関東蒲生会の活動に参加し、蒲生の皆さまと知り合えたことが、何物にも代えがたい励みとなり、とても心強く、日々感謝しております。



私が子供の頃、蒲生町には、蒲生、漆、西浦、新留、大山の5校の小学校がありました。私は新留小学校の出身ですが、2007年から長らく休校も2020年9月ついに廃校となってしまいました。大山小学校が、2015年12月廃校となっておりますので、現在、蒲生町には3校の小学校が存在しています。私が新留小学校の生徒だった頃、同級生は、他の学年の中でも一番多くて私を含めて4名で、一つ上の上級生が2名、一つ下の下級生が2名でした。全校生徒も14、5名程度という状況でしたので、6学年で3クラスの複式学級というスタイルでした。先生方は、校長先生、教頭先生、クラス担任3名、養護の先生に用務員の方もいらして生徒より多いのではと揶揄されるほどでした。

しかし、山の学校で1周100メートルのトラックがやっと出来るくらいの小さな校庭でしたが、今振り返ると、何をするにも1年生から6年生まで全員参加で和気藹々としたとても良い環境だったと思います。そんな思い出の新留小学校も時代の流れには逆らえず廃校となってしまいました。YouTubeに2007年の休校当時の様子が『マクセルDVD ずっとずっと。新留小学校編』として投稿されています。

私の趣味「東京・銭湯めぐり」

銭湯めぐりを始めたきっかけは、一時期仕事の関係で東京を離れることがあり、再び東京に戻った際に、もっと東京の事を知りたいと思い、近所の銭湯で「東京銭湯ぶらり湯めぐりマップ」という本に出会い、休日を利用してのスタンプラリーを行うことになりました。

ぶらり散歩を兼ねて街並みや雰囲気を楽しみながら東京のあちこちの銭湯を訪れ、10数年で200軒以上の銭湯を訪れました。施設の老朽化や後継者不足などの原因で昭和の頃は二千軒以上あった東京の銭湯も今は五百軒程になっています。

昔ながらの物が無くなっていくのは寂しいですが、大きなお風呂でゆっくり出来る銭湯はおすすめですので是非ご近所の銭湯に足をお運びください。



2011年10月撮影 新留小学校



台東区 燕湯



故郷・始良市のニュース

始良市は今年の4月17日に任期満了に伴う始良市長選挙があり、湯元敏浩氏(57歳、蒲生町漆出身)が再選されました。

- ①桜島スマートインターチェンジが2021年3月に開通しました。
- ②蒲生地区と鹿児島市を結ぶ「宇都トンネル」が開通(2021.3)
- ③国道10号線と加治木町須崎地区を結ぶ「木田橋」が開通(2021.7)
- ④始良市庁舎が令和4年4月1日に着工されました。令和6年3月竣工予定です。

関東蒲生会のホームページをご覧ください

全国の各地にお住まいの蒲生出身者、蒲生に縁の方々も自由に閲覧・投稿できます。

このホームページには総会・懇親会時の写真や関東始良市ふるさと会も色々と投稿されております。

ホームページ

<https://www.kamoukai.com>

メールアドレス

office@kamoukai.com

関東蒲生会かわら版 令和4年7月9日発行
編集・文責 会長 山下 憲男



関東蒲生会のホームページ